



学ぶ権利を守るためには 「地域の学校」が 必要です!!

府の周辺部の
学校が次々
廃校に!

2014年度から府立高校の通学区が廃止され受験競争は府全体に拡大。学校は生徒獲得競争に投げ込まれ負ければ廃校に!? 府の周辺部にある「地域の学校」や、進学を希望する子どもたちの「最後の砦」の学校が、次々と廃校にされています。地元の学校がなくなれば、遠距離通学や通学費負担で「学ぶ権利」が侵害され、地域の活力も低下します。



●「定員」を理由に廃校にされた府立高校
○募集停止が計画されている府立高校

通学に 配慮を!

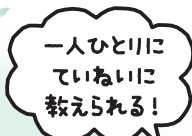
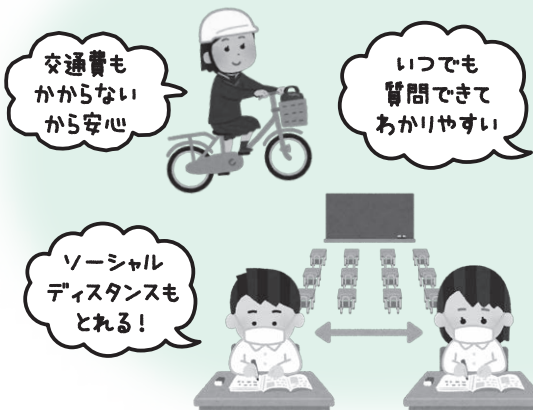
府の審議会

府立高校の配置については長い通学時間や高額な交通費等が生じることがないように十分配慮することが重要。

※8月27日に発表された大阪府学校教育審議会の「中間報告」より



地域の学校を残して 20人学級にすれば...



唯一の 高校存続を!

阪南市長

市内唯一の高校が廃校となれば、公立高校の有するセーフティネットの機能を府南部地域の生徒や家庭が享受することが困難となる。なくてはならない機能を持つ重要な施設であり存続を強く要望する。

※7月5日付で阪南市長から出された泉鳥取高校の存続を求める要望書より

署名にご協力ください!